＜今日の伝言＞

◆調布市への要請呼びかけ人から

自衛隊への個人情報提供を取りやめて！

２６３人の署名を添えて調布市長に再要請しました

調布市が議会にも市民にも無断で、住民基本台帳にある 18 歳・22 歳の市民の個人情報を、自衛隊の隊員募集のために「宛名シール」にして自衛隊に提供していたことをめぐって、これが発覚した一昨年（2023 年）以来、市民有志 140 人のみなさんの連名をいただいて、名簿提供を止めるよう調布市に申し入れ、交渉してきました。

この間（昨年７月）、調布市は、私たちの要請にこたえるとして、本人からの申請があれば自衛隊への名簿提供から除外するという制度をつくりましたが、それはまだ市民に広く知らされているわけではなく、これで問題が根本的に解決するわけではありません。

昨年（2024 年）は、自衛隊から名簿提供の依頼がなかったので個人情報提供はなかったようですが、今年（2025 年）には、市の方針通り個人情報提供を行おうとしています。

そこで、１月 24 日に私たちは、名簿提供はやはり中止すべきだとの意見を添えて、新たな「要請書」（添付１）を調布市に提供し、これに賛同するみなさんの連名を呼びかけてきました。そのうえで私たちは今日（４月 23 日）、集まった 263 人のみなさんの署名を添えて「再要請書」（添付２）市長に要請しました。

あらためて調布市の誠実な対応を求めるとともに、市民のみなさんに、１月発行のリーフレット「ご存じでしたか？18 歳･22 歳市民の個人情報を調布市が無断で自衛隊に提供したこと」のいっそうの普及にご協力いただくことと、添付する「要請書」「再要請書」を読んでいただくことを呼びかけます。特に「再要請書」で強調した「安保３文書」以来の防衛費倍増、自衛隊基地増強のもとで形成されている「本当に戦争する自衛隊」の隊員募集に、私たちと私たちの調布市は「本当に協力できるのか」という問いかけに、ご家族や近隣のおなかまとともに真剣に向き合っていただきたいと熱望します。